

## 平成 7 年 9 月以降に当センターにおいて

### 病理解剖をお受けになった患者さんのご遺族の方へ

#### (1) 研究の概要について

東京都健康長寿医療センター長の承認を受け、「剖検例を用いた下垂体機能不全についての研究；下垂体疾患の抽出、病理組織学的所見の評価方法の確立、全身疾患との関連性の検討」を実施しております。下垂体は脳底部に位置する 1g に満たない小さな臓器です。全身のホルモン中枢と考えられています。大きく前葉と後葉に分けられます。前葉では、副腎皮質刺激ホルモン、成長ホルモン、プロラクチン、甲状腺刺激ホルモン、卵胞刺激ホルモン、黄体化ホルモンが、合成・分泌されています。また、後葉は、視床下部で合成されるバソプレシンやオキシトシンを貯蔵、分泌します。

今までに前葉では 10-20%程度に何らかの病変があるとされていますが、全身疾患との関連性などは明らかとなっておりません。また後葉では、病理学的所見とホルモン状態の関連性も今までに明らかとされていません。

具体的には平成 7 年以降に東京都健康長寿医療センター（旧東京都老人医療センターを含む）で病理解剖された方が研究の対象となります。

病理解剖のご承諾の際に医学研究へのご協力にもご承諾いただいておりますが、改めて研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を承りますようお願い申し上げます。

この研究への協力承諾の撤回を希望される場合や、また研究に関するご質問がある場合には、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究題名：「剖検例を用いた下垂体機能不全についての研究；下垂体疾患の抽出、病理組織学的所見の評価方法の確立、全身疾患との関連性の検討」

研究期間：承認後～令和 5 年 3 月 31 日

研究責任者（所属・職名・氏名）

東京都健康長寿医療センター・病理診断科・専門部長 井下尚子

研究分担者（所属・職名・氏名）

東京都健康長寿医療センター・病理診断科・部長 新井富生

東京都健康長寿医療センター・神経病理学・部長 斎藤祐子

#### (2) 研究の意義・目的について

下垂体は、全身のホルモン中枢とされています。下垂体機能不全には、下垂体自体の障害と、下垂体ホルモンの分泌を制御する視床下部の障害及び両者を連結する下垂体茎部の障害に分類されます。実際は障害部位が複数の領域にまたがっていることがあります。この領

域の器質的疾患、特に腫瘍（下垂体腫瘍、頭蓋咽頭腫、胚細胞腫瘍など）、炎症性疾患や外傷・手術、出産時の児のトラブル（骨盤位分娩など）や自己免疫機序の関与が示唆されています。一般に、原因となっている腫瘍性ないし炎症性疾患が存在する場合は手術などの適切な治療が行われます。また、ホルモン欠乏に対する治療として、欠乏するホルモンの種類や程度に応じたホルモン補充療法が行われます。

しかし未治療の下垂体領域の疾患が、解剖症例の10-20%にみられるとされています。下垂体機能不全は全身疾患、特に高血圧や糖尿病など発症率の高い成人病の原因となることがあり、これらの治療のため下垂体疾患のスクリーニングが有用である可能性があります。このため、まず対象となる解剖検体から、①下垂体疾患を病理学的に抽出すること、②その病理組織学的所見の評価方法を確立すること、さらにその③下垂体疾患と全身疾患の関連性を明らかとすること、を目的とします。

### （3）研究の方法について

①対象となる解剖症例の下垂体組織を、既に染色されたHE標本を用いてスクリーニングし、その有病率を明らかとします。②特に後葉機能の形態学的評価法が確立していないため、免疫染色（Neurophisin、ASK3など）を追加し、細胞内タンパク発現を検索し、HE染色を用いた形態学的評価法の確立に努めます。③抽出された下垂体疾患を背景に持つ症例の既往歴、持病、治療歴などをカルテから調査します。

### （4）資料の保管と、他の研究への利用について

本研究を行うときには、個人情報とは完全に分離した形で扱っておりますので、患者さんの個人情報が漏れる心配はありません。また、国内外に研究の成果を論文・学会等で発表する場合も、個人の特定はできないようにしております。他の研究への利用は予定されておられません。なお、研究終了後のデータの扱いについては、論文の根拠となるデータは発表後、5年間保管します。保管責任者は研究責任者とし、保管場所については東京都健康長寿医療センターの所定の場所で、厳重に保管します。

### （5）資料の入手または閲覧、開示

本研究の計画や方法についてはご遺族の希望に応じて、資料の要求または閲覧ができません。本研究の結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝え頂ければ、他の研究者に不利益が及ばない範囲で、研究結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報を含む場合には、資料の提供または閲覧はできません。

本研究に関し、研究対象者への経済的負担、謝礼はありません。研究に係る利益相反及び個人の収益等はありません。研究対象者の健康、子孫に受け継がれ得る遺伝的特徴等に関する重要な知見が得られる可能性は想定されておられません。

(6) 問い合わせ先

東京都健康長寿医療センター病理診断科 井下尚子

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35-2

電話 03-3964-1141 内線 2413 (平日 9:00~17:00)